

公安委員会定例会議(第3回)の開催状況

第1 日 時 令和4年2月2日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時10分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 曾我部委員説示

先週の定例会議からの1週間は、沖縄県で発生した若者による警察署襲撃や、大学入学共通テスト試験問題流出事件関係者の出頭など、気になる事案等が発生しましたが、テクノロジーの進歩は、時として、想定外の出来事を引き起こすと改めて感じたところです。また、明後日には北京オリンピックの開幕となりますが、テロ等の発生もなく平穩に開催されることを願っています。

今日は、ダブルチェックの重要性について話します。私は、子供のころから、自分の仕事に自信を持つ職人に囲まれて育ったこともあり、自分の仕事を完璧にこなすことが当たり前と考えていました。社長に就任した頃も、社員に対し、“自分が作ったんだから間違いないと仕事ぶりについて言えるような仕事をすべき”という気持ちがあり、不良品が出た際には厳しく叱責したこともありました。当時の会議では、改善のためにはダブルチェックすべきとの提案も出ていましたが、私は、“自分の仕事について他人のチェックを求めるなどは、仕事に自信がない証拠であり認めない”と拒否をしていました。

しかし、社長としての勤務が長くなると、人間はミスをする生き物であり、特に“間違いない”と思い込んでいる場合のミスは致命傷となりかねないということに気付き、私も含め、社員には、自分でチェックした後、他人による違った目線でのチェックを受けるよう改善を図りました。そうしたところ、事前にミスを見つけ対処できた回数が増え、結果として不良品を出す回数も減っていきました。

このダブルチェックは、業種を問わず、ミスを減らすために重要であると考えます。業務の参考としていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第2回公安委員会定例会議の会議録について伺

いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 監察の実施状況

首席監察官から、令和3年9月13日から同年11月29日の間に行った全警察署に対する総合監察及び第3四半期（令和3年9月から同年12月）に行った随時監察の実施状況について報告があった。

委員から、「職員の非違・不適正事案の絶無に向け、真剣に考えて取り組んでもらっている。先の委員説示にもあったように、ダブルチェックなども取り入れながら、漏れのない監察に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「教養資料を発出するなど、しっかりと対応していただいている。引き続き、“なぜ、そのようにしなければならないのか”ということ職員一人一人がしっかりと認識できる教養等の実施に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「証拠品管理にミスが生じないように、引き続き、適切な管理についての指導を行っていただきたい」との発言があった。

(2) 令和3年中の特殊詐欺の現状と抑止対策

生活安全部長から、令和3年中の特殊詐欺の認知状況、発生状況等の分析及び抑止対策について報告があった。

委員から、「高齢者には、特殊詐欺を他人事のように考えている人が多い。高齢者が集まる機会に、特殊詐欺を自らのこととして捉えることができるような広報を行うなど、引き続き、未然防止に向けた取組を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「特殊詐欺に対し、“こんなおいしい話はない”と自らが気付くことができるような広報を実施していただきたい」との発言があった。

委員から、「誰かに相談することは大事であると感じている。引き続き、警察に対しても気軽に相談できる環境づくりに努めていただきたい」との発言があった。

(3) 令和3年中における自動車警ら隊の活動状況

生活安全部長から、令和3年中における自動車警ら隊の活動状況につ

いて報告があった。

委員から、「昨年度、自動車警ら隊の事務所を視察し、隊員と懇談したが、隊員は皆しっかりしており、とても頼もしく感じたのを覚えている。引き続き、職務質問のプロとして様々な事件の検挙に努めるとともに、若手職員等への技術の伝承にも努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「重要な業務であり、県民の安全安心の確保のため頑張っていたきたい」、「職務質問中、その状況をSNSで流している者もいるので、引き続き適切な対応に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「中々職務質問に応じない者もいると思う。引き続き、技術の研さんに努めていただきたい」との発言があった。

(4) 道路交通法違反及び偽造有印公文書行使事件の検挙

交通部長から、久万高原署管内で発生した、道路交通法違反（無免許運転、速度違反）及び偽造有印公文書行使（偽造運転免許証の行使）事件について検挙した旨報告があった。

委員から、偽造有印公文書行使に関する質問があり、交通部長から「愛媛でも過去に検挙した事例もある」との回答があった。

委員から、「偽造運転免許証の入手先等についても、解明に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

4 その他

本部長から、「沖縄の警察署襲撃事件では、SNSの情報の拡散の影響を目の当たりにした。かつて、アラブ諸国で勤務していたとき、圧政に怒った民衆がSNSで集会を呼び掛け、その呼び掛けから2～3週間後には政府が倒壊し革命が起こったのを経験したことがある。SNS上の情報は、真偽が入り混じったものが多く、正しい情報を見抜く力が重要である。SNS上の情報の対極にあるのは、行政機関が公式に発表する情報であり、我が国では公式であるが故にその情報は信じてもらえている状況にある。我々としても、正確な情報を出すための取組をしっかりと行う必要がある」、「また、他県では猟銃使用の立てこもり事件が発生したが、こうした事件の発生時に的確な対応ができるよう準備を進めることと併せて、猟銃の申請、更新時等には、部内の横の連携を大事にしつつ、不適格者の排除について厳格な審査等に努

めていきたい」との発言があった。

以 上